

4階入院病棟が

「地域包括医療病棟」に

生まれ変わりました！



これまで地域包括ケア病棟として運営していた4階の入院病棟が、地域包括医療病棟として生まれ変わりました。新設の地域包括医療病棟について、正木浩喜院長がお答えします。



院長
正木 浩喜
Masaki Hiroki

Q 「地域包括医療病棟」ってどんな病棟？



A 高齢化が進むにつれ、特に軽症から中等症の高齢の救急患者さんが増加しています。急性期病棟の役割は重症者の受け入れであり、高度な治療が最優先されます。一方で軽症から中等症の高齢の患者さんには治療はもちろん、長期臥床によるADLの低下を防ぐため、早期のリハビリテーションが必要でした。

こうしたニーズに対応するのが地域包括医療病棟です。救急体制を整えつつ、かつリハビリテーションや栄養・口腔管理が可能であり、入退院支援・在宅復帰支援まで実施できるような役割を担います。次の項目で説明しますが、急性期病院からの「下り搬送」にも対応しやすくなります。

Q 急性期病院からの「下り搬送」とは？

A 入院治療の機能分化および受け入れ体制を確保するため、高次の急性期病院と連携し、高次急性期病院に救急搬送された患者さんが連携する一般病院でも対応可能と判断された場合に転院搬送するのを「下り搬送」といいます。

地域の医療を潤滑化し、地域全体で患者さんを救うため、当院でも多数の急性期病院と連携して下り搬送を受け入れています。

Q 地域包括医療病棟に変えたのはなぜ？



A 入院患者さんの治療に関しては地域包括ケア病棟と変わりませんが、栄養評価、運動機能評価、口腔ケアの必要性をより早期に確認して介入し、患者さんの経口摂取を主とした栄養管理を進める点で、地域包括医療病棟は評価されています。

在院日数は地域包括ケア病棟よりもかなり短縮しますが、必要なリハビリテーションの提供が可能となり、さらなるリハビリテーションが必要な場合は回復期リハビリテーション病棟への転床も可能です。地域包括医療病棟性変わったことで、より患者さんのニーズに応えられる病棟になっています。

患者さん一人ひとりの
目標に向けて

チーム医療で取り組みます！

地域包括医療病棟では入院直後から多職種が集まり、患者さん一人ひとりに応じたゴールを決め、そのために何ができるのかを話し合って治療方針を決定します。さまざまな分野の専門家が集まって治療にあたるため、一人の医師で対応するよりも、より早い回復や精神的な安定が見込めます。ADL改善と在宅復帰が可能になるようチーム医療で取り組んでいきます。



内科部長
梶村 幸三
Kajimura Kouzou



看護部 地域包括医療病棟は、急性期病棟よりもリハビリテーションや栄養管理の体制が整い、回復期リハビリテーション病棟よりも看護師が手厚く配置されています。高齢の患者さんの救急受け入れ先となり、安心して看護・介護を提供します。患者さんのQOL向上に努め、スムーズに早期退院ができるよう努力していきます。



リハビリテーション部 地域包括医療病棟では、患者さんの在院日数を平均21日以下にするという要件があり、急性期病棟のような役割が求められます。患者さんが次の段階にスムーズに移行できるよう、「繋ぎ手」としての役割をしっかりと担えるように、これまでと同様に精進していきます。



栄養部 急性期治療後はリハビリテーションの早期介入がすすめられますが、ADLの改善には、栄養面からも早期介入することが重要です。管理栄養士が介入し、評価を行うことで栄養低下を防ぎ、早期退院につなげていきます。患者さんの嗜好や病態に合わせて、一人ひとりに寄り添った安心・安全かつ、おいしい食事の提供に努めます。



歯科 歯科では外来診療だけでなく入院中のケアも行っています。入院されたらお口の中をチェックしてトラブルをなるべく早く発見し、患者さんが順調に回復に向かうようサポートします。患者さんのお口の中の状態はさまざま、入院された経緯もそれぞれ違います。その方に合った治療や口腔ケアをご提案します。





障害者病棟の新しい取り組み



当院の障害者病棟では、重度障害・難病患者さんを受け入れ、長期療養や透析治療を提供しています。

同病棟では新たに、神経難病・脊髄損傷患者さんのレスパイト入院が可能になりました。くわしくご紹介します。

10対1の看護配置で手厚いケアを実施します。



当院の障害者病棟の特色
障害者病棟は、重度の肢体不自由者や意識障害のある方、パーキンソン病など神経難病の方を中心に継続した治療を行う病棟です。当院は透析療法（透析ベッド60床）も行っていますので、入院加療が必要になった透析患者さんや障害者病棟に入院されています。また、重度の障害者や指定難病の方以外に、急性期治療後に病状は安定しているものの継続して治療が必要な方、人工呼吸器を装着している方や気管切開をされている方など、医療依存度の高い方の長期的な治療やケアも行っています。

神経難病・脊髄損傷患者さんの「レスパイト入院」が可能に

●「レスパイト入院」とは？

レスパイトとは「一時中断」「小休止」「猶予」などを意味する言葉です。介護においては「介護する側が一時的に介護を離れて、リフレッシュすること」を指します。当院の障害者病棟では、レスパイト入院（介護家族支援短期入院）の受け入れも行っていきます。レスパイト入院とは、医療保険が適用される短期入院のサービスのごことで、食事・排泄などの介助に加えて、必要な医療管理が提供されます。また、体の状態によってはリハビリテーションを受けることもできます。

●「レスパイト入院」の対象者

レスパイト入院が利用できるのは、介護保険によるショートステイの利用が困難で在宅療養している方、医療的な管理や介助を常時必要としている方が対象となります。

医療的な管理を常時必要としている方の中には、人工呼吸器を装着している方や、点滴・胃ろうによる栄養摂取を行っている方などが含まれます。今回新たに、神経難病・脊髄損傷の

患者さんのレスパイト入院が可能になりました。

●「レスパイト入院」の利用について

レスパイト入院の期間は2週間以内です。レスパイト入院は治療目的の入院とは異なるため、入院時の状態把握のための採血・尿尿・心電図・胸部X線撮影などの最小限の検査のみ行い、それ以外の検査は医師により必要と判断された場合のみとなります。

ご自宅での生活状況を踏まえ、患者さんが安全に、そして少しでも快適に入院生活を送っていただけるよう心がけていきます。



地域連携室へお気軽にご相談ください。



協力対象施設のご紹介

地域包括医療病棟は地域の高齢者施設のバックベッドの役割も果たし、施設に入所している方の容態が悪くなった際は、入院受け入れを行います。当院が連携する6施設はこちらです。

【社会福祉法人ラポール会 特別養護老人ホーム くみのき苑しらさぎ】



南国リゾートをイメージした全室個室（ユニット型）の施設。聴覚障がい者の方も入居可能で、1階には認知症カフェを併設。住み慣れた地域で安心して暮らせるエンターテインメントな施設を目指す。



大阪府堺市東区白鷺町3-18-17
072-287-7222

【社会福祉法人よしみ会 泉北園百寿荘】



愛情豊かなケアのもとで、利用者さんが幸せな毎日を送れるようサポート。子ども園を併設し、子どもたちの世代を超えた交流でパワーをもらいながら、生き生きと毎日を暮らせる施設を目指している。



大阪府堺市南区茶山台3-23-2
072-296-3535

【社会福祉法人稲穂会 特別養護老人ホーム やすらぎの園】



体も心も安らげる、緑あふれる田園地帯に立地。一期一会をモットーに、真心こめたサービスを提供する。当院の連携施設となることで、利用者さんの健康面を守る大きな支援チームを作ることが可能になった。



大阪府堺市中区深井畑山町2528-1
072-270-7000

【社会福祉法人東光学園 特別養護老人ホーム ふれ愛の家】



入所84床、短期入所16床のほか、通所介護、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなどを備える。「安心と安全 優しさ笑顔 愛と和」の精神で地域の高齢者が安心して過ごせる体制を整えている。



大阪府堺市中区土塔町2028
072-237-1979

【医家法人大泉会 介護老人保健施設 だいせん】



運営母体が病院で、地域密着型医療と介護サービスの提供に尽力する施設。理学療法士7名、作業療法士2名、言語聴覚士1名が常勤し、利用者さんのニーズに合わせてリハビリテーションを提供している。



大阪府堺市中区土塔町155-1
072-230-0201

【一般社団法人堺市医師会 介護老人保健施設 いずみの郷】



利用者さんやご家族から、「いずみの郷を利用してよかった」と笑顔で言ってもらえるよう、研修を重ねて専門性を高めた専門職が、利用者さんの状態や目標に合わせて細やかに心のこもった介護サービスを行う。



大阪府堺市南区竹城台1-8-2
072-290-2277



ご案内 関連事業所の

当院の周辺には、さまざまな在宅サービスや訪問サービスを提供する事業所があります。ご自身の状態やお住まいの地域に合わせて、最適なサービスをご利用いただけます。



より身近な在宅介護支援センターとして、利用者様の安心・安全な在宅生活をサポートいたします。

新人ケアマネジャーの小島です。通所系サービスでの勤務経験を生かして、社会参加を通じた安心・安全な在宅生活をマネジメントしていきます！



おうち診療所堺デイケア

デイケアは自立した日常生活を目指して、心身の機能維持・回復、生活機能向上のための機能訓練を受けることができる施設です。理学療法士による個別リハビリテーション、個々に合わせた自主トレーニング、介護職員による集団体操や動画を用いた体操、認知症予防の脳トレーニングなど多様なプログラムを提供します。利用者が「したい」「できるようにになりたい」と思うような訓練課題を提供し、自宅での活動や社会での活動につなげているようサポートします。

加入しました。「その人らしさを尊重したケアをする」を抱負に、きめ細やかな配慮と確かな技術で在宅生活をサポートしています。



簡易発電機、蓄電池設備ステーションになりました！

おうち診療所堺

より広い専門領域までカバーできる訪問診療を目指し、2024年4月より訪問リハビリテーションを開始しました。スタッフがご自宅へ訪問し、利用者さんができる限り自立した日常生活が送れるよう支援します。訪問リハビリテーションでは、おうち診療所堺の医師が全身の状態を確認し、適切な指示を出しますので、安心してリハビリテーションを受けることができます。多職種が連携し、必要な医療・リハビリテーションを提供します。介護をされているご家族へのアドバイスや相談も行っておりますので、お気軽にご相談ください。



それぞれのニーズに寄り添い、安心できる暮らしを力強くサポートします。

ハート訪問看護ステーション

看護師11名で活動しています。1名の特定看護師が常在し、利用者さんの生活や意向に温かく寄り添えるようがんばっています。在宅で医師の指示を待たずに行える特定行為が増えたことで、手順書に基づき、より早く処置が行えるようになりました。また、リハビリテーションにおいては、これまで男性の理学療法士だけの体制でサービス展開していましたが、2023年4月より経験豊富な頼もしい女性スタッフが

ハート訪問ステーション 居宅介護支援

在宅生活での介護における困りごとなどの相談を受け、必要な介護保険サービスが受けられるよう調整します。堺平成病院や地域の病院からの退院支援も行い、訪問看護やリハビリテーションなど、医療系サービスの導入も含めて幅広く対応します。





入院病棟のご案内



SAKAHEI

医療法人 恵泉会 堺平成病院 広報誌
「さかへい」

≧ 4種類、合計296床の病棟で在宅復帰をサポートします! ≦

4階 56床

地域包括医療病棟

在宅復帰を目指す方の治療や支援を行います

ご自宅や施設で具合が悪くなった方、急性期病院にて症状が安定したものの退院後の生活が不安な方や、集中してリハビリテーションを受けたい方など、疾患を問わず、在宅復帰を目指す方であればどなたでも受け入れています。疾患に対する治療はもちろん、在宅復帰を支援するためのリハビリテーションを提供します。



6階 60床

医療療養病棟

急性期での治療後も療養が必要な方を受け入れ

高度急性期病院での治療が終わったものの症状が安定せず、すぐに在宅復帰できない患者さんを受け入れます。ご自宅や施設への復帰を目標に、集中的な治療と積極的なリハビリテーションを施すことで症状を安定させ、早期復帰をサポート。退院後に治療が必要な状態になってしまっても、迅速に受け入れられるよう体制を整えています。



アクセス
深井駅
徒歩
約6分



5階 60床

障害者病棟・一般病棟

重度の障害がある方でも安心して療養できる病棟

長期間、集中的な医療を必要とする患者さんにトータルケアを実践する病棟です。重度の意識障害や脊髄損傷など重度肢体不自由の方、神経難病などがある方が主な入院対象で、人工呼吸器管理を必要とされる方も療養されます。専門多職種によるチーム医療で問題点を早期発見し、ADL回復、QOL向上に全力で取り組みます。



回復期 7・8階 120床

リハビリテーション病棟

リハビリテーションに特化した専門病棟

脳血管疾患や骨折の急性期治療が終了した患者さんを受け入れ、多職種によるチーム医療で質の高いリハビリテーションを提供して、心身の回復を図り、早期の在宅復帰を目指します。退院後には関連施設や地域病院などと連携し、復帰後の生活をサポート。1日のすべてがリハビリテーションにつながるような生活を提供することが特長です。



医療法人 恵泉会
堺平成病院
SAKAI HEISEI HOSPITAL

〒599-8236 大阪府堺市中区深井沢町6番地13

☎ 072-278-2461 ☎ 072-279-9777
📧 sakaiheisei.jp 📧 info@sakaiheisei.jp

当院について
くわしくはこちらから



特集

4階入院病棟が「地域包括医療病棟」に生まれ変わりました!